

2005(平成17)年10月 受払表

日本スチレン工業会

ポリスチレン

単位:t

	今月実績	前年 同月比
繰越在庫	89,404	119
生産	74,966	90
出荷	内需	77,266
	輸出	2,323
	計	79,589
月末在庫	84,781	102

内需内訳	今月実績	前年 同月比
電機工業用	15,017	102
包装用	29,064	101
雑貨産業用	16,061	109
FS用	17,124	102
合計	77,266	103

スチレンモノマー

単位:t

	今月実績	前年 同月比
繰越在庫	90,629	142
生産	266,798	102
出荷	内需	162,154
	輸出	137,748
	計	299,902
月末在庫	74,735	101

内需内訳	今月実績
GP・HI	72,099
EPS	17,312
AS	4,844
合成ゴム	15,598
不飽和 ポリエステル	3,868
ABS	24,591
その他	23,842
合計	162,154

PS 及び SM の 2005 年 10 月度実績概況

PS

生産は定修差及び減産によって、連続 6 ヶ月前年同月比マイナスである。

内需は前年同月比+3%であり、9 月に引き続き全分野が前年同月比プラスとなっている。8 月以降はほぼ標準的な出荷量に復していることが注目される。

用途別では電機・工業用、包装用、FS 用の 3 用途とも微増である。不振が続いた雑貨・産業用の伸びが高いが、やや先行出荷の可能性もある。

個別には電機・工業用では記録メディア、数量的には大きくないが TV 用の伸びが目立っている。包装用では HI シートが伸びている。

輸出は特定用途のみに止まり、例月と大差はない。

出荷計は内需のプラスが効いて前年同月比+2%となっている。

在庫は前月に比しさらに約 5 千 t 減少、8 万 5 千 t を割って、今年では最低の水準、年初から約 2 万 t 減少している。

SM

生産は定修 2 社 3 工場であったが、前年同月比では増加。高操業率となっている。

内需は前年同月比減が続いている。主用途 PS の生産(=SM の内需)-10%をはじめ EPS、ABS の主力用途が不振。AS、合成ゴム向けがやや堅調な程度で誘導品は総じて不振である。

輸出は 13 万 t 台であり、高水準を維持している。但し前年同月比の高率伸びは、前年の 9~10 月が極度の低在庫で輸出を絞っていた故である。

出荷合計は内需減、輸出増で前年同月比+13%、約 30 万 t と高水準を維持している。

在庫は前 7 月末から減少を続け、前年の低水準に近づいている。月数でも 0.3 ヶ月を割込んでいる。

以上